

序の解明」に関する研究

1. 研究対象者

2018年1月1日から2025年7月31日までに、高知大学医学部附属病院において、5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断（PDD）補助下の経尿道的膀胱腫瘍切除術を受け、膀胱癌と診断された20歳以上の患者様。

2. 研究目的・方法

尿路上皮癌では、一部の分子異常が診断補助薬による腫瘍検出能に影響する可能性が指摘されています。本研究では、光線力学診断補助下の経尿道的膀胱腫瘍切除術により採取された既存の病理検体を用い、蛍光を示さなかった病変と、同時に蛍光を示していた病変について、特定のタンパク質発現などの分子マーカーを比較解析し、光線力学診断の検出特性との関連を明らかにすることを目的としています。本研究では、診療および治療の過程で得られた既存の検体および診療録情報のみを使用し、新たな検査や治療、追加の侵襲や負担はありません。

研究期間：倫理委員会承認日から2027年12月31日まで

利用又は提供を開始する予定日：2026年3月18日～

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、対象患者様の診療録（カルテ）から、診断名、年齢、性別、臨床症状、血液検査・尿検査結果、CT・MRIなどの画像検査情報、病理組織学的所見等の臨床情報を取得します。また、保存されている病理検体を用いて、免疫組織化学染色やPCR法等による限定的な分子解析を行い、特定のタンパク質発現や特定遺伝子の発現（RNA）に関する情報を評価する場合があります。これらの解析は、あらかじめ定めた研究対象分子に限定して実施するものであり、網羅的なゲノム解析やトランスクリプトーム解析（次世代シーケンス等）は行いません。取得した情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部 泌尿器科学講座

電話：088-880-2402

【研究責任者】泌尿器科学講座 深田 聡